

# 回 転 展

不思議ですよね。例えば「ヤカン」。何の変哲もない「ヤカン」が突然ゆっくり回りだす。あなたならそんな回るヤカンを「何」だと思いますか？今までの水を汲んだりお湯を沸かすためのヤカンではない。なにしろ回っているのだから水も汲めない、お湯も沸かせない何の役にも立たない、さっきまで便利な台所用品だった「ヤカン」は、今何か別のものになってしまった。さて何になってしまったのか？ヒントは回るヤカンが存在するにふさわしい場とは何処か？ということ。台所？食卓？金物屋？いやいやどこも回るヤカンにはふさわしくありません。そう、この役に立たない、意味のわからない、回るヤカンがあっても不思議ではありません。もちろん、世界中の美術を収める美術館であれば「回るヤカン」が置かれて相応しいのは「美術館」です。美しいものこれでもかと集めてる美術館に「回るヤカン」なんてものを置く余裕はないのかもしれない。しかし「美術館」だけなのです。これは何を意味しているのでしょうか。もちろんヤカンの芸術度や特性をそれは「美術館」だけなのです。これは何を意味しているのでしょうか。もちろんヤカンの芸術度を失い、その代わりに「芸術度」が少々アップしたと言えないでしょうか。もちろんヤカンの芸術度を上げる方法は他にいくらでもあります。ヤカンに美しい色を塗ってもいいし、溶接して奇怪なオブジェを作ってもいいし、様々な方法があります。ただその中で回すという方法はあまりにもシンプルで簡単で、そして回るのを止めたときに元のヤカンに戻ってまたお湯を沸かせるという優れた方法です。ボクはこの「回転」というものが「芸術」を考えるととても大切なものか？回りだしたどの時点でヤカンは芸術になるのか？ヤカンのかわりに芸術を回したらさらに芸術度はアップするのか？回転への興味はつきません。さあ、皆さんもこの不思議な「回転」を楽しんでください！

し  
り  
あ  
が  
り  
寿